

日语阅读：暖冬骚乱 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/202/2021_2022__E6_97_A5_E8_AF_AD_E9_98_85_E8_c105_202980.htm 雪の降るなかを登城した大老、井伊直弼（なおすけ）は行列に（き）りんだ水攘夷（じょうい）派の手にかかり、暗された。147年前のあす3月3日、「田外の」である幕府大老、井伊直弼顶着纷飞的雪花登临江户城，忽被水户攘夷派杀入队伍，惨遭暗杀。这就是147年前的明天即3月3日发生的“田外之变”。警していた彦根藩士は刀を雪支度で固めていたため、で後手を引いたとえられる。「あす」といたが、旧をいまのに直せば3月24日、あと3ほど先の出来事になる据说，侍从的彦根藩士，因是雪天打扮，刀剑绑得很紧，所以，应战迟了一步。刚才我写了“明天”，但是，如果把旧时日历改为现在的太阳历，却是3月24日、即大约还要三周才发生的事情。「上巳（じょうし）（3月3日の称）の大雪めったにない、田とほうもない」と俗に歌われた。今年のように、暖冬の文字をかけぬ日のない冬をごして3月を迎えると、「めったにない」の文句が感としてわろう通俗歌谣里唱道：“上巳（3月3日的别称）大雪真稀有/田骚乱可奈何”。如果象今年这样，无一天不看到暖冬的字眼地，送走冬天，迎来3月，那么，“真稀有”一句倒是颇具实感呢。象は12月から2月までを「冬」と呼んでいる。京都心では雪をないまま冬がわった。上巳の大雪から16年後、1876年（明治9年）の始以来、初めてののことという象一直把12月至2月期间叫作“冬天”。今年，京都中心不见下

过一次雪就把冬天送走了。据说，这是上巳大雪之后的16年即1876年（明治9年）开始进行气象观测以来的第一次。雪量の乏しい北地方からは、田植えどきの水不足を心配する声もこえる。クマの出没、雪のないスキ、春水...「とほうもない」とため息の出る暖冬はまだわりそうにない从积雪量少的北地区，也传来了对插秧期水量不足的担心。野熊出没、无雪滑雪场、春天干旱.....直叫人叹息“可奈何”的“暖冬乱”仍没有结束的迹象。江期の俳人鬼（おにつら）の句に、「冬はまた夏がましじゃといひにけり」とある。寒すぎれば寒すぎたで愚痴の出るのが人情とはいえ、季節のめりはりがない日常はやはりさみしい。折り目の崩れた服を着たような、心なしか浮かない分の弥生三月である。江时期的俳句诗人鬼写有这样的句子：“人在冬/心盼夏”。下雪了又抱怨天太冷，虽说这是人之常情，但是，没有季节起伏感的日常生活仍会让人感到若有所失。也许是心理作用吧，这季节象是身穿折痕零乱衣裳的、无精打采的阴历三月。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com